

ICOM

取扱説明書

車載型デジタル簡易無線機 IC-D5005

Icom Inc.



はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
本製品は、技術基準適合証明で認定された国内業務用無線電話装置です。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。

取扱説明書の内容について

◎この取扱説明書に記載の操作や機能は、お買い上げの販売店であらかじめ設定をご依頼いただくことにより使用できる機能も含まれています。
本書では、一般的なご使用を想定した内容にしていますので、設定されている機能について詳しくは、お買い上げの販売店におたずねください。

チャンネルについて

◎CH1～CH14、CH16～CH30:通話用チャンネル
◎CH15(呼出CH)*1 :呼出用チャンネル
◎CH S1～CH S5*2 :上空用チャンネル
*1 一時的な呼び出しをするとき使用します。(※P5)
多くの局が呼出用チャンネルを使用しますので、呼び出し後の通話は、空いている通話チャンネルに切り替えてから通話をつづけてください。
*2 上空用チャンネルでは送信できません。

本製品の概要

◎本製品は電波法に基づいて、特定無線設備の工事設計についての認証(技術基準適合証明)を取得した製品です。
◎チャンネル番号の代わりとして、漢字、英数字、記号、外字を使用した半角8(全角4)文字で表示できます。
◎弊社提携型デジタル簡易無線機(IC-D50)と組み合わせ、簡単なデジタル無線システム運用ができます。
◎別売品の卓上電源装置(PS-230A)と組み合わせて、簡易基地局が構築できます。
◎デジタル通話によりクリアな音質で交信できます。
◎本製品を個別呼び出し機能「OFF」で使用する場合、種別コード「3R」の他社型デジタル簡易無線機と通話互換があります。

登録商標/著作権について

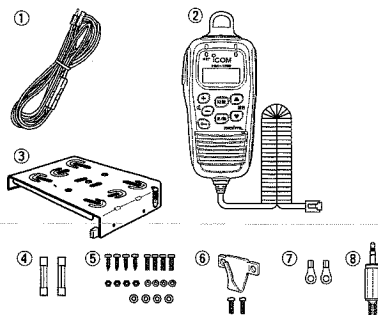
アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、ボケットビーブは、アイコム株式会社の登録商標です。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
本製品のフォントはリヨビのフォントを採用しております。
The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 and #5,195,166.

はじめに

付属品について

本製品には、下記のを同梱しています。

① DC電源ケーブル	1
② マイクホン(HM-188)	1
③ モービルブラケット	1
④ ヒューズ(FGB 5A)	2
⑤ モービルブラケット取り付けネジ一式	1セット
⑥ マイクハンガー	1セット
⑦ DC電源ケーブル用圧着端子	2
⑧ 外部スピーカー用プラグ	1
取扱説明書、保証書	各1



自動車運転時のご注意

◎安全運転のため、運転中にマイクロホン进行操作したり、マイクロホンの表示部を注視(表示部を見つづける行為)したりしないでください。
マイクロホン进行操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に自動車を停車させてください。
◎安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で自動車を運転しないでください。
一部の都道府県では、運転中にイヤホンやヘッドホンなどを使用することが規制されています。
◎本製品をハイブリッドカーでご使用になる場合、ハイブリッドカーに搭載されているインバーターからのノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

放熱について

本製品は長時間運用すると、後面部の温度が高くなります。子供や周囲の人が後面部に触れないようにご注意ください。また、本製品はできるだけ風通しのよい、放熱の妨げにならない場所に設置してください。

はじめに

自動車に取り付け時のご注意

◎自動車の板金部に沿ってDC電源ケーブルを通す場合、保護用テープを巻くことをおすすめします。
DC電源ケーブルと板金部がこすると、外被が破れ、ショートの原因となることがあります。
◎本製品を自動車に取り付けたあと、本製品の電源を入れた状態で、自動車のブレーキランプ、ヘッドライト、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。
◎アンテナの同軸ケーブルからは電波がぶく射されるので、自動車のコンピューター(コントロールユニット)、およびハーネスから遠ざけ、ハーネスと交差する場合は、ハーネスと直角になるように取り付けてください。
◎自動車のコンピューター(コントロールユニット)に影響をおよぼさないようにするため、無線機、アンテナ、同軸ケーブルなどは、次のような電波障害留意機器より20cm以上はなして取り付けてください。
●エンジン関係:ECI/燃料噴射装置/エンジンコントロールユニット(ガソリン車)、グローコントロールユニット(ディーゼル車)
●トランスミッション関係
:電子制御式変速機/4WDコントロールユニット
●その他
:ECS/EPS/ABS/ETACS/フルオートエアコン/オートヒーターコントロールユニット/Gセンサー

電波法上のご注意

◎本製品は電波法に基づいて、特定無線設備の工事設計についての認証(技術基準適合証明)を取得した業務用無線電話装置です。本製品は電波法に基づき本体を容易に分解できない構造になっていますので、ご自分で分解や改造をしないでください。
◎特に他局の通信を妨害、および通話の内容を他にもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。
◎使用できるのは、日本国内に限られています。

はじめに

取り扱い上のご注意

- ◎テレビやラジオなどの家電製品、パソコン、および電話機などの近くで使用すると、雑音が発生したり、誤動作したりすることがありますので、はなれた場所に設置してください。
- ◎直射日光の当たる場所に設置したり、長時間放置したりしないでください。移動局として車内に設置する場合、炎天下では、温度が極端に上昇し、本機に悪影響を与えます。また、真冬は、ある程度車内の温度を上げてからご使用ください。
- ◎車載運用では、バッテリー保護のためにも、一日の使用が終わったときは、必ず本機の電源を切ってください。
- ◎本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。
- ◎本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電などの外部要因により、通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

iv

もくじ

はじめに	i	■ プライベートチャンネル機能	12
取扱説明書の内容について	i	■ 呼出用チャンネル	12
チャンネルについて	i	■ 送信時間制限装置	12
本製品の概要	i	■ ユーザーコードグループ	12
登録商標/著作権について	i	■ ショートメッセージ機能	13
付属品について	ii	■ キャリアセンス機能について	13
もくじ	v	4 セットモードについて	14
安全上のご注意	vi	■ 「セットモード」に移行するには	14
1 各部の名称と機能	1	■ 「詳細セットモード」に移行するには	14
■ 無線機本体	1	■ 設定一覧	15
■ マイクホン	1	■ 設定項目について	16
■ 表示部	3	5 設置と接続について	23
2 通信のしかた	4	■ 設置のしかた	23
1 電源を入れる	4	◇ 基地局として設置する	23
2 音量を調整する	4	◇ 移動局として設置する	23
3 相手局を選択する	5	◇ 車内への取り付けかた	24
4 呼び出しをする	7	◇ 車内への取り付け例	24
■ アンサーバック機能について	7	■ 電源の接続	25
■ ボケットビープ機能	8	■ マイクホンの接続のしかた	26
■ 着信表示	8	■ 外部スピーカ用プラグについて	26
6 通信する	9	■ マイクハンガーの取り付けかた	26
■ 通信時のアドバイス	9	■ アンテナについて	26
1. マイクホンの使いかた	9	6 保守について	27
2. 個別呼び出しについて	9	■ ヒューズの交換について	27
3. 相手局から応答がないときは	9	■ 日常のお手入れと点検について	27
4. 通信する場所について	10	■ 故障かな?と思ったら	27
3 そのほかの機能について	11	■ アフターサービスについて	28
■ ロック機能	11	7 別売品一覧	29
■ モニター機能	11	■ 別売品についてのご注意	29
■ Pベル機能	11	さくいん	30
■ 送信出力切り替え	11		

安全上のご注意

警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

- ◎DC電源ケーブルのヒューズホルダーを絶対に切断しないでください。
ショートして発火、火災などの原因になります。
- ◎指定(卓上電源装置(PS-230A)、12Vバッテリー、24Vバッテリー)以外の電源を使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎DC電源ケーブル、卓上電源装置の電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加熱しないでください。
ショートして発火の原因になります。
- ◎DC電源ケーブルが傷ついている場合や、接続がゆるい場合は使用しないでください。
ショートして発火の原因になります。
- ◎長時間使用しないときは、バッテリーや卓上電源装置からDC電源ケーブルまたは電源ケーブルを抜いてください。
発熱、火災の原因になります。
- ◎雷が鳴り出したら、機器やアンテナ線、DC電源ケーブル、卓上電源装置の電源ケーブルには、絶対に触れないでください。
感電の原因になります。
- ◎DC電源コネクター、または卓上電源装置の電源ケーブルにホコリが付着したまま使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

vi

vii

安全上のご注意

安全にお使いいただくために、必ずお読みください。

- ◎使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- ◎次の「△危険」「△警告」「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。
- ◎お読みになったあとは、いつでも読める場所へ大切に保管してください。

【免責事項について】

お客様または第三者が、取扱説明書記載の使用法とは異なる使用方法で本製品を使用したことにより生じた故障、ならびに本製品の違法な使用により生じた故障につきましては、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。本製品の使用により本製品以外に生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

△ 危険

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

- ◎引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。
引火、火災、爆発の原因になります。

△ 警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

- ◎電子機器の近く(特に医療機器のある病院内)では絶対に使用しないでください。
電波障害により電子機器が誤動作、故障する原因になりますので、電源を切ってください。
- ◎民間航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、これらの関連施設周辺では絶対に使用しないでください。
交通の安全や無線局の運用などに支障をきたす原因になります。
- 運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。
- ◎煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。
- ◎マイクホンのケーブルを持って、マイクホンを振り回したり、投げたりしないでください。
本人やほかの人に当たり、けがや故障、および破損の原因になります。
- ◎DC電源ケーブルを接続するときは、⊕(プラス)と⊖(マイナス)の極性を間違えないように十分注意してください。
火災、感電、故障の原因になります。

vi

vii

△ 警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

- ◎電源ケーブルや接続ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎指定以外のヒューズを使用しないでください。
火災、故障の原因になります。
- ◎付属または指定以外のDC電源ケーブルを使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎製品の分解や改造は、絶対にしないでください。また、ご自分で修理しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。
- ◎線材のような金属物を入れたり、水につけたりしないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

⚠ 注意

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

- ぬれた手でDC電源コネクター、卓上電源装置の電源ケーブル、または機器に触れないでください。感電の原因になることがあります。
- 各コネクター部に金属片やゴミを付着させないでください。ショートして発火の原因になることがあります。
- 直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
- 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
- ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布を軽く絞ってふいてください。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。けが、故障の原因になることがあります。
- くらついた台の上や傾いたり、振動が多かったりする場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして火災、けが、故障の原因になることがあります。
- 本製品の上に乗りたり、ものを置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になることがあります。

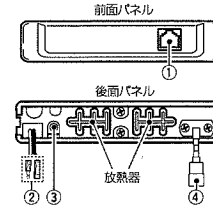
⚠ 注意

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

- マイクロホン、および別売品を接続するときは、付属または指定以外のマイクロホンおよび別売品を使用しないでください。故障の原因になることがあります。
- テレビやラジオの近くで送信しないでください。電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。
- 容易に人が触れることができる場所にアンテナを設置しないでください。送信中のアンテナは高電圧になることがあるため、感電、けが、故障の原因になることがあります。
- 長時間使用すると、後面部の温度が高くなりますので、後面部に触れないでください。また、周囲の人が後面部に触れないようにご注意ください。やけどすることがあります。
- インバーター内蔵の電子機器の周辺で使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。
- 長時間使用すると、無線機本体後面の放熱器の温度が高くなりますので、放熱器に触れないでください。やけどする原因になることがあります。
- 20℃～+60℃以外の環境では使用しないでください。記載の温度範囲以外でのご使用は、故障の原因になることがあります。

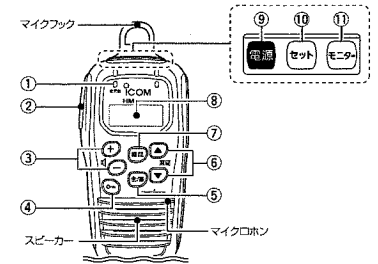
1 各部の名称と機能

■ 無線機本体



- ① **マイクジャック**(≒P26)
付属のマイクロホン(HM-188)を接続します。
- ② **DC電源コネクター**(動作範囲:DC12V～24V)(≒P23、P25)
付属品のDC電源ケーブルを使用して、車載バッテリー(DC12V/DC24V)、または別売品の卓上電源装置(PS-230A)に接続します。
- ③ **外部スピーカージャック**(≒P26、P29)
別売品の外部スピーカー(SP-30)、または別売品の卓上電源装置(PS-230A)を接続します。
インピーダンスは4Ωです。
- ④ **アンテナコネクター**(≒P26)
アンテナを接続するM型コネクターです。
インピーダンス50Ωのアンテナを接続します。

■ マイクロホン



- ① **[送受信]ランプ**
交信の状態を示します。
●赤色点灯:送信中
●緑色点灯:信号を受信中
●橙色点灯:着信表示を「ON」に設定しているときに、着信があった場合
- ② **[PTT]スイッチ**(≒P7～P10)
こちらからはなすときに[PTT]スイッチを押します。
はなし終わって、通話相手の話を聞くときは、[PTT]スイッチをはなします。

(≒ 次のページにつづく)

各部の名称と機能 1

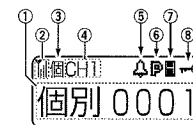
- ③ **音量**([+]/[-]キー)(≒P4)
●[+]を押すと音量が大きくなり、[-]を押すと音量が小さくなります。音量は0～32のあいだで調整できます。
●[+]/[-]を押してつづけると、連続動作します。
- ④ **ロック**([ON/OFF]キー)(≒P11)
長く押すごとに、ロック機能を「ON」/「OFF」します。
- ⑤ **[全/基]キー**(≒P6)
押すごとに、「全体」→「基地」→「個別」→「グループ」の順番に呼び出せる局を切り替えます。
※個別呼び出し機能が設定されていない場合は、キー操作は無効になります。
- ⑥ **[▲](アップ)/[▼](ダウン)キー**
●押すごとにチャンネルが切り替わります。(≒P5)
●セットモードと詳細セットモード時は、押すごとに設定値が切り替わります。(≒P14)
※個別呼び出し機能やユーザーコードグループ機能が設定されている場合は、[機能]キーや[全/基]キーを操作して表示された内容が切り替わります。
- ⑦ **[機能]キー**(≒P5、P12)
短く押すごとに、「通話チャンネル番号」→「ショートメッセージ」*1→「ユーザーコードグループ」*2→「個別(相手局)番号」*3の順番に表示が切り替わります。
*1ショートメッセージが設定されていない場合、「ショートメッセージ」は、表示しません。設定はお買い上げの販売店にご依頼ください。

- *2ユーザーコードグループが設定されていない場合、「ユーザーコードグループ」は、表示しません。
- *3個別呼び出し機能が設定されていない場合、「個別(相手局)番号」は、表示しません。

- ⑧ **表示部**(≒P3)
運用状態を表示します。
- ⑨ **[電源]キー**(≒P4)
長く押すごとに、電源がON/OFFします。
- ⑩ **[セット]キー**(≒P12、14)
●押すごとに、通話チャンネル番号とセットモードを切り替えます。
●設定により、長く押すごとに通話チャンネル番号とブライベートチャンネルを切り替えます。
※設定はお買い上げの販売店にご依頼ください。
- ⑪ **[モニター]キー**(≒P11)
モニター機能が「PUSH」、「TGL」に設定されている場合に押すと、モニター機能が動作します。
※通常は使用しませんが、受信音がない状態で音量を調整するときは、「ON」にします。
※詳細セットモードの「モニターキー動作の設定」(≒P21)で、モニター機能以外の動作にも割り当てられます。

1 各部の名称と機能

■ 表示部



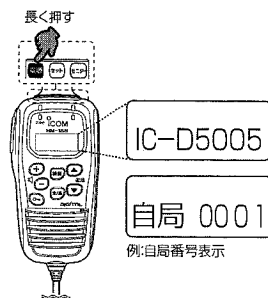
- ① **[相手局番号/設定内容]表示**
チャンネル番号/個別番号/グループ番号/ショートメッセージなどを表示します。
チャンネルや個別番号に名称を設定している場合は、チャンネル番号表示や個別番号表示で名称を表示します。
また、[+]/[-]キーを押すと、音量(0～32)を表示します。
※チャンネルや個別番号に名称を設定する場合、またショートメッセージを表示する場合はお買い上げの販売店にご依頼ください。
 - ② **電界強度表示**
受信している電波の強さ(目安)を、下記の3段階で表示します(「T」は常時点灯します)。
 - 55:弱
 - 中:中
 - 強:強
- [電源]キー(電源をONにしたときは点灯)、[PTT]スイッチ以外の操作をしたとき、表示部の照明が約5秒間点灯します。

- ③ **モード表示**
●運用中の[個](個別)/[全](全体)/[基](基地)/[グ](グループ)の各モードを表示します。
●グループメンバー時は[メ]が白黒反転表示します。
- ④ **ガイドメッセージ表示**
待ち受け中は、現在のチャンネル番号や秘話設定状態を表示します。
秘話設定時は、「CH」が白黒反転表示します。
秘話なしで、①の表示がチャンネル番号を表示しているときは、空白になります。
また、画面によりショートメッセージ番号や「SET」(セットモード、詳細セットモード時)を表示します。
- ⑤ **[ベル]キー**(≒P8)
●個別呼び出し(着信)を受けたとき点滅します。
●ボケットビープ機能が設定されているとき点灯します。
- ⑥ **[P(ベル機能)]キー**(≒P11)
ベル機能を「ON」に設定したとき表示します。
- ⑦ **[送/受]キー**(送信出力/受信専用)(≒P11)
各通話チャンネルの送信出力設定(High/Low)、受信専用チャンネル選択中表示します。
■:ハイパワー(5W)選択時に点灯
■:ローパワー(1W)選択時に点灯
■:受信専用チャンネル選択時に点灯
- ⑧ **[ロック]キー**(≒P11)
ロック機能を「ON」に設定したとき表示します。

【ご注意】本書では、個別呼び出し機能が「ON」の場合の使いかたについて説明しています。個別呼び出し機能が「OFF」の場合の使いかたについては、別紙の「操作設定ガイド」をご覧ください。

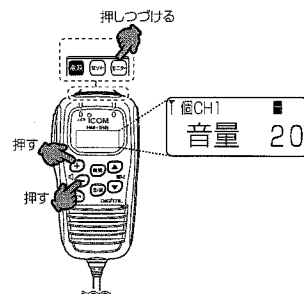
1 電源を入れる

【電源】キーを長く押して、電源を入れます。
電源を入れたら、ピープ音が「ビー」と鳴って、起動コメントを表示します(設定時のみ)。
※個別呼び出し機能が設定されている場合は、自局番号を表示します。



2 音量を調整する

相手局の音声が大きすぎたり、小さすぎたりしたときは、[+] / [-]キーを押して聞きやすい音量に調整します。
モニター機能が設定されている場合、何も音が出ていない状態での音量調整は、[モニター]キーを押して「ザー」という雑音を出し、この雑音を聞きながら調整します。
※モニター機能が動作しているあいだ、[送受信]ランプが緑色に点灯します。
調整後は、[モニター]キーををします。



4

2 交信のしかた

3 相手局を選択する

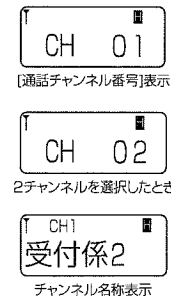
個別呼び出し機能で相手局を呼び出すときは、あらかじめ「通話チャンネル番号」と「個別(相手局)番号」を選択します。

Step1.通話チャンネル番号の選択

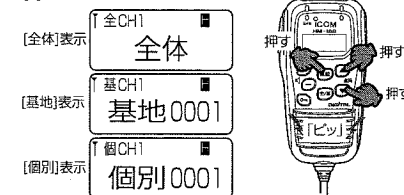
通話チャンネル番号とは、交信する周波数のことです。
交信する相手と同じ[通話チャンネル]番号を選択します。
相手と[通話チャンネル]番号が異なるときは通信できません。

●「チャンネル」表示から選択する場合

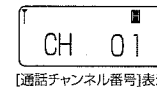
[▲]/[▼]キーを短く押すごとに、チャンネルがアップ/ダウンします。



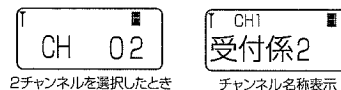
●「全体」/「基地」/「個別」表示から選択する場合
下記の表示(※P6)から通話チャンネル番号を選択する操作です。



① [機能]キーを短く押します
●「通話チャンネル」を表示します。



② [▲]/[▼]キーを押して、「通話チャンネル」を選択します。



※[機能]キーを短く押すごとに、「通話チャンネル」→「ユーザーコードグループ」→「個別(相手局)番号」の順に表示が切り替わります。

5

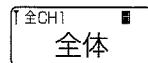
2 交信のしかた

Step2.「全体」/「基地局番号」/「個別番号」/「グループ番号」表示の選択

〈相手局番号の表示について〉
次の4種類があり、呼び出す相手を選択(個別呼び出し機能を使用)するときの番号を表示します。

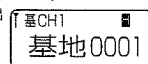
●全体呼び出し(全体)

一斉に全局を呼び出す。



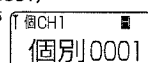
●基地局呼び出し(出荷時の設定:基地 0099)

基地局番号に指定された局を呼び出す。



●個別呼び出し(出荷時の設定:個別 0001)

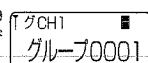
「個別0001」～「個別9999」のうち1局を選択して呼び出す。



●グループ呼び出し

「グループ0001」～「グループ9999」のうち1グループを選択して呼び出す。

※このグループ番号のメンバーになっている局を呼び出します
※呼出用チャンネル(15チャンネル)では、個別呼び出し機能を使用できません。

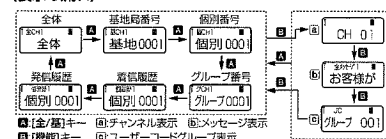


※工場出荷時、グループは最大10グループ(「グループ0001」～「グループ0010」)使用できるようになっています。
グループ数の変更は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

[全/基]キーを押すごとに、「全体」→「基地局番号」→「個別番号」→「グループ番号」の順に表示が切り替わります。
※「全体」/「基地局番号」表示を選択したときは、「4 呼び出しをする」(※P7)の操作に進みます。



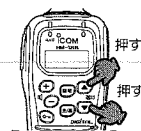
〈表示の流れ〉



Step3.「個別番号」の選択

個別番号/グループ番号を選択するときは、それぞれの表示画面で[▲]/[▼]キーを押します。

※Step2の「全体」/「基地局番号」表示の状態(※P5)でも、[▲]/[▼]キーを押すと個別番号が選択できます。



6

2 交信のしかた

4 呼び出しをする

【ご注意】

ほかに通信する無線局がないことを確認([送受信]ランプが緑色に点灯していないなど)してから呼び出してください。
[送受信]ランプが緑色に点灯中は、キャリアセンス機能(P13)によって送信できない場合があります。

[PTT]スイッチを押すと、[送受信]ランプが赤色に点灯します。
[PTT]スイッチを押しながら、マイクホンに向かって「こちらは××局です。〇〇さんどうぞ。」と呼びかけたら、[PTT]スイッチををします。



■アンサーバック機能について

個別呼び出し機能が設定された無線機は、アンサーバック機能が設定されていると、相手局が通信圏内にあるかどうかを確認できます。
確認するときは、信号を受信していない状態で[PTT]スイッチを短く押します。
相手局が通話圏内の場合、ピープ音が1回だけ「ビッ」と鳴ります。([送受信]ランプが、1回緑色に点灯します)
※「全体呼び出し」、「グループ呼び出し」では動作しません。



7

5 呼び出しを受ける

個別呼び出しを受けたときだけ、**△**(ベル)表示、相手局の個別番号、「個着信」が点滅します。

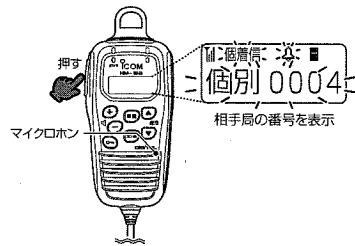
※「着信」表示が点滅中は**▲**/[**▼**]キーは操作できません。

[**金/基**]キーを押すと、点滅が停止しスイッチを操作できます。

その状態で[PTT]スイッチを押しながら、マイクホンに向かって

「こちらは〇〇局です。
××さんどうぞ。」

と応答します。



[PTT]スイッチから手をはなしたあと、[**金/基**]キーを押すと、点滅が停止して**▲**/[**▼**]キーは操作できます。

■ ポケットビーブ機能

△(ベル)が表示されている無線機で動作します。呼び出しを受けたとき、ビーブ音でお知らせする機能です。いずれかのスイッチを操作すると、停止できます。

※相手局から「全体呼び出し」または「グループ呼び出し」を受けたときは、鳴りません。

■ 着信表示

「着信表示」が設定されていると、個別呼び出しを受けたときだけ、[送受信]ランプが橙色に点滅します。

[モニター]または[**金/基**]キーを押すと、点滅が停止します。

※設定は買い上げの販売店にご依頼ください。

2

8

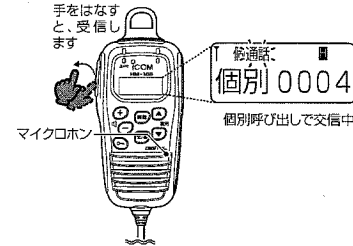
2 交信のしかた

6 交信する

相手局から呼び出しを受けた状態(※P8)から、送信と受信を交互に繰り返すと、交信できます。

※双方同時に送信しても、交信できません。

※送信の終わりに「どうぞ」と言葉を添えると、スムーズに交信できます。



交信中は、「通話」表示を点滅します。再度相手局を呼び出すときは、呼び出しをする前の表示に戻ってから[PTT]スイッチを押します。

※送信中は音量を変更できません。

※[PTT]スイッチをはなしたあと、「通話」表示が点滅中は**▲**/[**▼**]/[機能]キーは操作できません。

3 そのほかの機能について

■ ロック機能

不用意に[**金/基**]キーや[機能]キー、[セット]、[+] / [-]キー、**▲**/[**▼**]キーに触れても、表示や音量が変わらないようにする機能です。

それ以外のキーは操作できます。

[**○**]キーを長く押すと「ビビッ」と鳴って、表示部に「**▼**」が点灯します。

ロック機能動作中に、[**金/基**]、[機能]、[セット]、[+] / [-]、**▲**/[**▼**]キーを押すと、表示部に「キーロック」を表示します。同じ操作をすると、ロック機能を解除します。

■ モニター機能

受信音がない状態で音量を調整するとき便利な機能です。モニター機能が有効になっているあいだ、「ザー」という音が聞こえます。

その音を聞きながら音量を調節してください。

[モニター]キーを押しているあいだ、モニター機能が有効になります。

[モニター]キーをはなすと、モニター機能を解除します。

※設定により、動作が異なる場合があります。

※「詳細セットモード」で設定できます。

■ 交信時のアドバイス

1. マイクホンの使いかた

●マイクホンに向かってはなすときは、マイクホンと口元を約5cmはなし、普通に会話する大きさの声で通話してください。

マイクホンを口元に近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、めいりょう度が悪くなることがありますのでご注意ください。

●[PTT]スイッチを押すと、「ビッ」という音が鳴り、[送受信]ランプが赤色に点灯します。

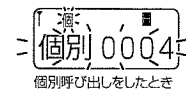
そのあとマイクホンに向かってはなしてください。

2. 個別呼び出しについて

個別呼び出しをするときは、「通話チャンネル番号」(※P5)と「個別番号」(※P6)を相手局と同じ設定にしてください。

3. 相手局から応答がないときは

相手が無線機からはなれている場合や、電波を受信できない場所に移動したなどの理由で応答がないときは、再度[PTT]スイッチを押すと送信できます。



4. 交信する場所について

周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)により、受信しにくくなる場合があります。

そのときは、場所を少し移動して交信してください。

また、テレビやラジオなどの家電製品や、パソコンおよび電話機などの近くで使用すると、雑音が発生したり、誤動作したりすることがありますので、はなれてご使用ください。

2

10

11

■ プライベートチャンネル機能

【セット】キーを押すつづけると、設定されたプライベートチャンネルに移動します。
【セット】キーをもう一度押しつづけると、プライベートチャンネルを解除します。
※設定により、動作が異なる場合があります。
※「詳細セットモード」で設定できます。

■ 呼出用チャンネル

15チャンネル(CH15)は呼出用チャンネルとなっています。呼出用チャンネルでは、個別呼び出し、ユーザーコード機能、秘話機能を設定した通話ができませんので、ご注意ください。



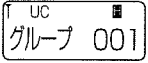
■ 送信時間制限装置

1回の送信で連続して送信できる時間は、「5分以内」と電波法で定められています。
送信時間制限10秒前になると、ピープ音が「ピッ」と鳴ります。
1回の送信時間が5分になると、警告音が「ブッ」と鳴って、自動的に送信を停止します。
※このあと1分間送信できなくなります。
※1分後に【PTT】スイッチを押すと、再度呼び出しできます。

■ ユーザーコードグループ

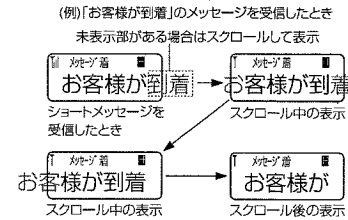
送信側に設定したユーザーコードグループと受信側に設定したユーザーコードグループが一致している場合だけ交信できる機能です。
※送信側、受信側の通話チャンネルは同じに設定してください。

- ①ユーザーコードグループ設定が表示されるまで、【機能】キーを繰り返し短く押します。
- ②【▲】/【▼】キーを押して、「ユーザーコードグループ番号」を選択します。
- ③【機能】キーを押すと、ユーザーコードグループ設定コードグループ番号を設定して、ユーザーグループ表示を解除します。
※ユーザーコードグループは、すべてのチャンネルで共通です。(※P18)
※チャンネルごとにユーザーコードを設定する場合、詳細セットモードの「ユーザーコードの設定」項目を【CH毎】に設定して、「CH毎ユーザーコードの設定」でユーザーコードを設定してください。(※P18)
※呼出用チャンネル(15チャンネル)では、ユーザーコード機能は使用できません。



■ ショートメッセージ機能

ショートメッセージ送信が設定されていると、【PTT】スイッチを押して送信することにより、設定されたショートメッセージを送信します。
※設定はお買い上げの販売店にご依頼ください。
※操作のしかたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
※受信側では、受信したメッセージをスクロール表示します。
※【▲】、【▼】、【機能】キーを押すと、受信したメッセージを再度スクロール表示します。
※【全/基】キーを押すと、メッセージ表示を解除します。



■ キャリアセンス機能について

本製品はキャリアセンス機能を搭載しています。電波法に基づき、送信しようとするチャンネルで、先に通話している局が存在した場合、【PTT】スイッチを押しても、「プププ…」と鳴って送信できません。その場合は他局の通話が終わったあとで、再度送信してください。

【ご参考】
出荷時は「キャリアセンス省路の解除条件」が「3(秒)」に設定されています。この場合、次のような動作をします。
●発信や応答ができて、通話に入るとキャリアセンス機能が停止します。
●通話が3秒以上途切れると、キャリアセンス機能が動作します。
●キャリアセンス機能が停止して5分経過すると、キャリアセンス機能が動作します。送信中に再動作した場合、送信を停止し、キャリアセンスを開始します。
※キャリアセンス省路の解除条件が「OFF」に設定されている場合は、キャリアセンスが常に動作します。
「キャリアセンス省路の解除条件」の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

セットモードについて

4

お好みの運用状況に応じて、設定項目を「セットモード」または「詳細セットモード」から変更できます。

【ご注意】設定できる項目が異なる場合があります。

■ 「セットモード」に移行するには

- ①本製品の電源がONの状態、【セット】キーを押すと、「セットモード」に移行します。
※項目は設定により異なる場合があります。
●ピープ音が「ビビッ」と鳴って、「SET」を表示したあと、設定項目を表示します。



- ②項目の選択は、【全/基】または【機能】キーを押すことに、下記の項目が切り替わります。
※項目は設定により異なる場合があります。
「①Pベル機能の設定」、「⑤送信出力の設定」、「⑥マイクゲインの設定」、「⑦発着信履歴消去設定」、「⑧外部スピーカーの設定」、「⑩設定値のリセット」
*「呼び出し設定」がONの場合のみ表示
③設定内容の変更は、【▲】/【▼】キーを押します。
④【セット】キーを押すと、変更内容を確定して、「セットモード」を解除します。
※ほかの設定項目に移動(手順②)後、電源を切った場合も、設定内容を確定して「セットモード」が解除されます。
※「セットモード」を解除するまで通話できません。

■ 「詳細セットモード」に移行するには

「詳細セットモード」ではすべての設定項目が設定できます。

【ご注意】設定できる項目が異なる場合があります。

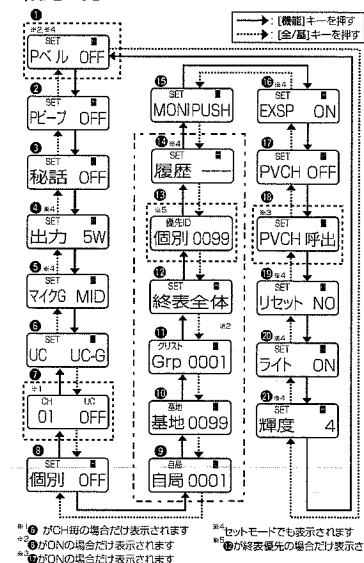
- ①本製品の電源を切ります。
- ②【+】キーを押しながら、【電源】キーを押すと、「詳細セットモード」に移行します。
●ピープ音が「ビビッ」と鳴って、「SET」を表示したあと、設定項目を表示します。



- ③項目の選択は、【全/基】または【機能】キーを短く押すことに、次のページのように項目が切り替わります。
※項目は設定により異なる場合があります。
④設定内容の変更は、【▲】/【▼】キーを押します。
⑤【セット】キーを押すと、変更内容を確定して、「詳細セットモード」を解除します。
※ほかの設定項目に移動(手順④)後、電源を切った場合も、設定内容を確定して「詳細セットモード」が解除されます。
※「詳細セットモード」を解除するまで通話できません。

4 セットモードについて

■ 設定一覧



●「セットモード」時に表示される項目

- ① Pベル機能の設定 (※P16)
- ② 送信出力の設定 (※P17)
- ③ マイクゲインの設定 (※P18)
- ④ 発着信履歴消去設定 (※P20)
- ⑤ 外部スピーカーの設定 (※P21)
- ⑥ 設定値のリセット (※P22)
- ⑦ バックライトの設定 (※P22)
- ⑧ バックライトの明るさ設定 (※P22)

●「詳細セットモード」時に表示される項目

- ① Pベル機能の設定 (※P16)
- ② ポケットピープの設定 (※P16)
- ③ 秘話機能の設定 (※P17)
- ④ 送信出力の設定 (※P17)
- ⑤ マイクゲインの設定 (※P18)
- ⑥ ユーザーコードの設定 (※P18)
- ⑦ CH毎ユーザーコードの設定 (※P18)
- ⑧ 個別呼び出し設定 (※P18)
- ⑨ 自局番号の設定 (※P19)
- ⑩ 基地局番号の設定 (※P19)
- ⑪ グループ設定 (※P19)
- ⑫ 終話後表示の設定 (※P20)
- ⑬ 優先個別番号の設定 (※P20)
- ⑭ 発着信履歴消去設定 (※P20)
- ⑮ モニターキー動作の設定 (※P21)
- ⑯ 外部スピーカーの設定 (※P21)
- ⑰ プライベートチャンネルへの移動機能の設定 (※P21)
- ⑱ プライベートチャンネルの設定 (※P21)
- ⑲ 設定値のリセット (※P22)
- ⑳ バックライトの設定 (※P22)
- ㉑ バックライトの明るさ設定 (※P22)

セットモードについて 4

■ 設定項目について

① Pベル機能の設定(出荷時の設定:OFF)

Pベル機能を設定します。
Pベル機能を使用すると、呼び出し(全体/個別/グループ)を受けたとき、応答するまで相手の音声をミュート(聞こえない)にします。

※この項目は②が「ON」の場合だけ表示されます。

※この項目は「セットモード」で設定できます。

- OFF :着信と同時に、相手の音声がかえる
- BON :応答するまで相手の音声をミュートし、音声のミュートと同時に、呼び出しを受けたことをブザー(ビー音、3回)で知らせる
- BOF :応答するまで相手の音声をミュートし、ブザーを鳴らさない

SET
Pベル OFF

SET
Pベル BON

SET
Pベル BOF

[BON、BOFに設定した場合]

※無線機の表示部には、を表示します。

※お買い上げ時、ブザー出力が「BON」に設定されている無線機は、音声のミュートと同時に、呼び出しを受けたことをブザー(ビー音、3回)でお知らせします。

ポケットビープが設定されている無線機は、このブザーが鳴ったあと、つづけて鳴ります。

また、ブザー出力が「BOF」に設定されている無線機は、ブザー、ポケットビープの両方とも鳴りません。

② ポケットビープの設定(出荷時の設定:OFF)

ポケットビープ(着信時の呼び出し音)のパターンを設定します。

- OFF :ポケットビープを使用しない
- 30F :30回鳴る
- 3F :3回鳴る
- MIN :3回鳴ったあと、1分ごとに1回鳴る
- CON :3回鳴ったあと、2秒ごとに1回鳴る
- PIー :「ピー」音が鳴る
- PPP :「ピピピ」音が鳴る

※ グループまたは全体呼び出しを受信したときは、ポケットビープを設定していても鳴りません。

SET
Pビープ OFF

SET
Pビープ 30F

4

4 セットモードについて

■ 設定項目について(つづき)

③ 秘話機能の設定(出荷時の設定:OFF)

仲間どうしの通話をほかの人に聞かれないようにする「秘話機能」について設定します。

秘話キーの一致しない無線機は、通話内容が聞こえないか雑音にしか聞こえません。

秘話機能は、ユーザーコード機能と併用できます。

- OFF :秘話機能を使用しない
- キー ID1 ~ ID16 :秘話機能を使用し、キーIDをID1 ~ ID16の中から選択する

※交信するすべての無線機で同じ設定にしてください。
※機密を要する重要な通話にご使用になることは、おすすめできません。

また、無線機間の通話は、電波を使用している関係上、第三者による盗聴を完全に阻止できませんので、ご注意ください。

SET
秘話 OFF

SET
秘話 ID16

④ 秘話機能の設定(出荷時の設定:OFF)のつづき

「秘話機能」の設定で、キーIDをID1 ~ ID16のいずれかに設定したときに、**[機能]キー**を長く押すと、「秘話キー」設定画面に切り替わります。

選択した秘話キーIDに割り当てる秘話キーを設定します。
※**[▲]/[▼]**キーを押すごとに、設定値がアップ/ダウンします。

※**[機能]キー**を短く押すごとに、設定するケタが右に移動します。

※**[全/基]キー**を短く押すごとに、設定するケタが左に移動します。

※設定が完了したあとで**[機能]キー**を長く押すと、「秘話キー」設定画面を解除します。

● 選択範囲:00001~32767

SET
キー 00001

④ 送信出力の設定(出荷時の設定:5W)

送信出力を設定します。
※この項目は「セットモード」で設定できます。

- 5W :送信出力を5Wに設定する
- 1W :送信出力を1Wに設定する
- CH :チャンネルごとの送信出力を設定する

SET
出力 5W

SET
出力 CH

16

17

セットモードについて 4

⑤ マイクゲインの設定(出荷時の設定:MID)

マイクゲインを設定します。
※この項目は「セットモード」で設定できます。

- MID :マイクゲインを中にする
- LOW :マイクゲインを低にする
- HI :マイクゲインを高にする

[ご参考]

※マイクゲインをLOWにすると、周りの雑音など、小さな音を抑えることができます。

※マイクゲインをHIにすると、小さな声でも通話できますが、周りの雑音や騒音なども相手に聞こえることがあります。

SET
マイクG MID

SET
マイクG HI

⑥ ユーザーコードの設定(出荷時の設定:UC-G)

ユーザーコードを設定します。
● UC-G :ユーザーコードグループを使用する

● CH毎 :チャンネルごとのユーザーコードを使用する

SET
UC UC-G

SET
UC CH毎

⑦ CH毎ユーザーコードの設定(出荷時の設定:OFF)

※この項目は②が「CH毎」の場合だけ表示されます。
チャンネルごとのユーザーコードを設定します。

- CHの選択範囲 :01~30
※15チャンネルはユーザーコードを設定できません。
- UCの選択範囲 :OFF、001 ~ 511

CH UC
:01: OFF

CH UC
01 :001

⑧ 個別呼び出し設定(出荷時の設定:OFF)

個別番号を用いた特定の局だけを個別に呼び出す機能について設定します。

- OFF :個別呼び出し機能を使用しない
- ON :個別呼び出し機能を使用する

※同一チャンネルの無線機を個別に呼び出せます。

※自局番号、基地局番号、グループ番号の設定は次のページをご覧ください。

SET
個別 OFF

SET
個別 ON

4

4 セットモードについて

■ 設定項目について(つづき)

⑨ 自局番号の設定(出荷時の設定:0001)

個別呼び出しに使用する自局の個別番号を個別番号設定の内容から設定します。
※この項目は、②が「ON」の場合だけ表示されます。

● 選択範囲:0001~0119

自局
0001

自局
0119

⑩ 基地局番号の設定(出荷時の設定:0099)

個別呼び出しに使用する基地局の個別番号を個別番号設定の内容から設定します。
※この項目は、②が「ON」の場合だけ表示されます。

● 選択範囲:0001~0119

基地
0099

基地
0119

⑪ グループ設定(出荷時の設定:グループID)

個別呼び出しに使用するグループの参加/不参加を設定します。
※この項目は、②が「ON」の場合だけ表示されます。

● グループの選択範囲:0001~0010

グリスト
Grp 0001

グリスト
Grp 0010

グループを選択して**[モニター]**キーを押すごとに、「グループID」、「メンバーとなるグループID」の切り替えができます。

● グリスト:グループID
このグループ番号の呼び出しは受けません。(このグループ番号を選択して、呼び出すことはできます。)

● グリスト:メンバーとなるグループID
このグループ番号を呼び出すことも、呼び出しを受けることもできます。

※「メンバーとなるグループID」選択時、表示部にが点灯します。

18

19

⑫ 終話後表示の設定(出荷時の設定:全体)

通話が終わった(待ち受け状態)とき、表示部の表示をどの状態にするかを設定します。

※この項目は、①が「ON」の場合だけ表示されます。

- 終表全体:全体呼び出し表示[全体]を表示する

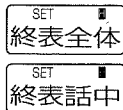
- 終表基地:[基地局番号]項目(⑩)で設定された基地局番号を表示する

- 終表個別:個別番号を表示する
- 終表GRP:グループ番号を表示する

- 終表着歴:着信履歴を表示する
- 終表発歴:発信履歴を表示する

- 終表優先:[優先個別番号]項目(⑪)で設定された個別番号を表示する

- 終表話前:通話前に表示していた内容を、再度表示する
- 終表話中:表示中に表示していた内容を、そのまま継続して表示する



⑬ 優先個別番号の設定

(出荷時の設定:個別0099)

通話が終わった(待ち受け状態)とき、表示部に表示する個別番号を設定します。

- ※この項目は、①が「終表優先」の場合だけ表示されます。
- 選択範囲:個別0001~0119
- グループ0001~0010



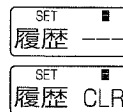
⑭ 発信履歴消去設定(出荷時の設定:---)

目局番号の設定/基地局番号の設定/グループ設定を変更したとき、この機能で発信履歴を削除してください。

※この項目は、①が「ON」の場合だけ表示されます。

※この項目は「セットモード」で設定できます。

- :何もしない
- CLR:履歴を削除する



4

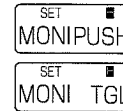
■ 設定項目について(つづき)

⑮ モニターキー動作の設定

(出荷時の設定:PUSH)

[モニター]キーを押したときのモニター機能や表示切り替えの動作状態を設定します。

- PUSH:押しているあいだけモニター機能がONに切り替わる
- 全体:押すと「全体」表示に切り替わる



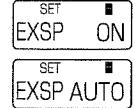
- 基地:押すと「基地局番号」表示に切り替わる
- 個別:押すと「個別番号」表示に切り替わる
- GRP:押すと「グループ番号」表示に切り替わる
- 着歴:押すと「着信履歴」表示に切り替わる
- 発歴:押すと「発信履歴」表示に切り替わる
- CH:押すと「メモリーチャンネル」表示に切り替わる
- MSG:押すと「ショートメッセージ」表示に切り替わる
- UC:押すと「ユーザーコードグループ」表示に切り替わる
- OFF:[モニター]キーが動作しない
- TGL:押すごとにモニター機能のON/OFFが切り替わる

※電源を入れなおしたとき、モニター機能はこの設定に関わらず、スケルチを閉じます。

⑯ 外部スピーカーの設定(出荷時の設定:ON)

外部スピーカー接続時にマイクロホン(HM-188)のスピーカーから音を出すか出さないかを設定します。

- ON:音が聞こえる
- AUTO:音が聞こえない

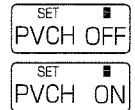


⑰ プライベートチャンネルへの移動機能の設定

(出荷時の設定:OFF)

[セット]キーを押したときの、プライベートチャンネルへの移動機能を設定します。

- OFF:移動しない
- ON:移動する



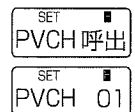
⑱ プライベートチャンネルの設定

(出荷時の設定:呼出)

プライベートチャンネルへの移動機能動作時の、移動先チャンネルを設定します。

※この項目は、①が「ON」の場合だけ表示されます。

- 選択範囲:01~14,呼出(15),16~30

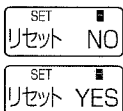


⑲ 設定値のリセット(出荷時の設定:NO)

各種設定値を、工場出荷時の値に戻します。

- NO:設定値に影響を与えません。
- YES:この状態で[セット]キーを押すと、各種設定値を工場出荷時の状態にします。

※「設定値のリセット」は、誤操作により設定値に影響を与えることを防ぐため、「YES」が選ばれた状態で他の項目に移動しても、設定値はリセットされません。



【ご注意】

- リセットすると、前の設定には戻せません。
- 設定値がリセットされ再起動するまで(約2秒)は、電源を切らないでください。
- ※設定値のリセット中に電源が切れると、修理が必要になる場合があります。

⑳ バックライトの設定(出荷時の設定:ON)

マイクロホンの表示部と各スイッチの照明を設定します。

- ON:電源を入れたとき、点灯する。
- AUTO:[PTT(送信)]スイッチ以外のスイッチ操作をしたとき、自動で点灯する
- ※操作しない状態が、約5秒つづくと消灯します。
- OFF:点灯しない



㉑ バックライトの明るさ設定(出荷時の設定:4)

マイクロホンの表示部と各スイッチの照明の明るさを設定します。

※バックライトが「OFF」に設定されている場合、設定項目に表示されません。

- 選択範囲:1(暗い)~7(明るい)



4

5 設置と接続について

■ 設置のしかた

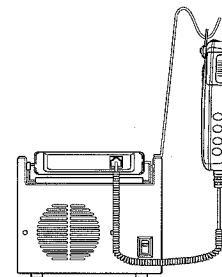
◇基地局として設置する

屋内で、基地局として運用するときは、別売品の卓上電源装置(PS-230A)をご利用ください。取り付け、および接続方法については、PS-230Aに付属する取扱説明書をお読みください。

◇移動局として設置する

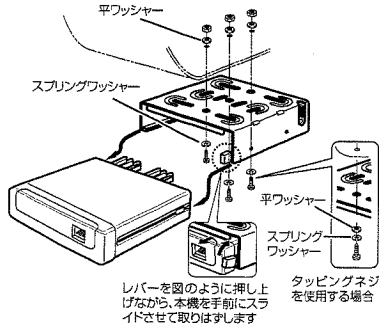
自動車で、移動局として設置するときは、次のことにご注意ください。

- 直射日光が長時間当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所には、できるだけ設置しないでください。
- 安全運転に支障のない場所に設置してください。
- 車内への取り付けかた、取り付け例は次のページをご覧ください。



◇車内への取り付けかた

- ① 付属品の取り付け金具を利用して、下図のようにダッシュボードなどに、付属品のタッピングで取り付けます。
- ② 取り付け金具のガイド部分に、無線機本体の両側にある溝を合わせ、本機をスライドさせて固定します。
- ③ 本機を取りはずすときは、右側のレバーを図のように押し上げながら、本機を手前にスライドさせてください。

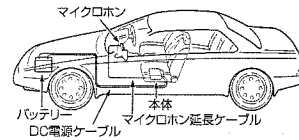
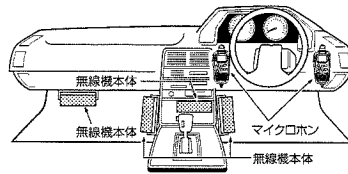


本製品は、防水構造ではありませんので、雨水などでぬれやすい場所には設置しないでください。

◇車内への取り付け例

下図を参考に、運転に支障がない場所に取り付けてください。
※ マイクロホンは直射日光の当たらない場所に設置してください。

●マイクロホン/本体の設置例



5

■電源の接続

電源は車のバッテリー (12V/24V) に、直接付属のDC電源ケーブルで接続してください。

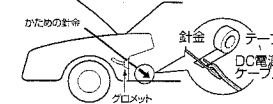
- ① かための針金をエンジンルームからグローメットを貫通させて車内に引き込みます。
- ② 針金をDC電源ケーブルをからませ、針金の先端をペンチなどで曲げ、テープを巻いてエンジンルームへ引き込みます。
- ③ DC電源ケーブルは赤色が⓪(プラス側)、黒色が㊦(マイナス)側になっていますので、間違えないようにバッテリー端子に取り付けます。

●電源接続時のご注意



シガレットライターから電源を取っても電流容量が足りません。
また、容量が足りても、ハムが出る原因になります。

●車内からエンジンルームへの配線

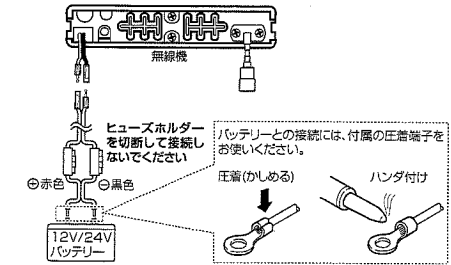


本機を接続する前に、DC電源ケーブルを配線してください。

△警告【DC電源ケーブルについて】

- DC電源ケーブルを接続するときは、プラス⓪とマイナス㊦の極性を間違えないように十分注意してください。
- DC電源ケーブルのヒューズホルダーを絶対に切断しないでください。
- DC電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加熱しないでください。
- DC電源ケーブルが傷ついている場合、接続がゆるい場合は使用しないでください。

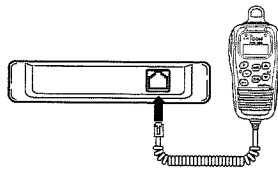
●本機とバッテリーの接続



■マイクロホンの接続のしかた

本機前面パネルに付属品のマイクロホンを接続します。

- ◆ マイクロホンは、マイクジャックに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

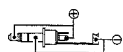


【ご参考】
無線機本体の設置場所と交信する場所がはなれているときは、別売品のマイクロホン延長ケーブル(OPC-647)をお使いください。

■外部スピーカー用プラグについて

付属の外部スピーカー用プラグのピン配置は下図のようになっています。

※中央の端子に接続しても音は出ません。



■マイクハンガーの取り付けかた

マイクハンガーは下図のように取り付けます。



■アンテナについて

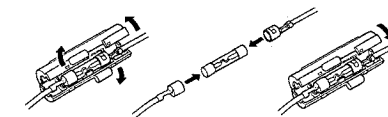
アンテナは、無線通信において非常に重要な役割を持っています。
使用するアンテナの種類や、設置場所などについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

5

6 保守について

■ヒューズの交換について

付属のDC電源ケーブルには、2本のヒューズ(125V/5A)が使用されています。
※ヒューズが切れて動作しなくなったときは、原因を取り除いてから新しいもの(付属品)と交換してください。



■日常のお手入れと点検について

- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布を軽く絞ってふいてください。
- ◎ 定期的に決まった位置の相手局と交信して、交信状態に変化がないか調べてください。
- ◎ 音量が最小に調整されていないか、マイクロホンの【モニター】スイッチを押しながら【+】(音量)スイッチを押して、表示部の音量表示(※P4)を確認してください。

■故障かな?と思ったら

下記のような現象は、故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
それでも異常があるときは、弊社サポートセンター(※P28)までお問い合わせください。

〈現象〉【電源】キーを押しても電源が入らない

〈原因1〉DC電源ケーブルの接触不良

処置: バッテリーまたは卓上電源装置(PS-230A)と接続しなおす。(※P23、P25)

〈原因2〉DC電源ケーブルのヒューズが切れている

処置: DC電源ケーブルには、プラス側とマイナス側のそれぞれにヒューズを入れています。もしヒューズが切れて無線機が動作しなくなったときは、原因を取り除いたあとで、新品と交換する。(※P27)

〈現象〉キーを押すと「キーロック」が表示され、キーが動作しない
 〈原因〉ロック機能が動作している
 処置:ロック機能を解除する。(※P11)

〈現象〉スピーカーから音が聞こえない
 〈原因1〉音量が最小に調整されている
 処置:無線機本体の「音量」を確認する。(※P4)

〈原因2〉外部スピーカーの接触不良
 処置:外部スピーカーが正常に接続されているか、ケーブルが断線していないかを点検する

〈現象〉交信できない(応答がない)
 〈原因1〉相手局と距離がはなれすぎている
 処置:場所を移動してから交信する

〈原因2〉相手局が不在、または電源を切っている
 処置:相手局の状態を確認する

〈原因3〉相手局と「通話チャンネル」が合っていない
 処置:相手局と同じにする、さらに個別呼び出し機能で使用する場合は、相手局の個別番号を選択する

■ アフターサービスについて

「■ 故障かな?と思ったら」(※P27、P28)にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。
 保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。
 修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●弊社製品のお問い合わせ先について

お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先

アイコム株式会社 サポートセンター
 0120-156-313 (フリーダイヤル)
 ◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、
 06-6792-4949 (通話料がかかります)
 受付(平日 9:00~17:00)
 電子メール:support_center@icom.co.jp
 アイコムホームページ:http://www.icom.co.jp/

●弊社製品の故障診断、持ち込み修理などの修理受付窓口は、別紙の「サービス受付窓口一覧」、または弊社ホームページ http://www.icom.co.jp/ をご覧ください。

—アルファベット—	
CH毎ユーザーコードの設定	18
Pベル機能	11、16
—あ—	
相手局	5、9
アフターサービスについて	28
アンサーバック機能について	7
アンテナについて	26
移動局として設置する	23
音量を調整する	4
—か—	
外部スピーカー	21、26
各部の名称と機能	1
基地局	19、23
キャリアセンス機能について	13
グループ設定	19
交信時のアドバイス	9
交信する	9、10
交信のしかた	4
故障かな?と思ったら	27
個別呼び出し	9、18
—さ—	
自局番号の設定	19
車内への取り付け	24
終話後表示の設定	20
詳細セットモードに移行するには	14
ショートメッセージ機能	13
設置と接続について	23
設置のしかた	23
設定一覧	15
設定項目について	16
設定値のリセット	22
セットモード	14

さくいん

送信時間制限装置	12
送信出力	11、17
その他の機能について	11
—た—	
着信表示	8
電源の接続	25
電源を入れる	4
—な—	
日常のお手入れと点検について	27
—は—	
バックライト	22
発着信履歴	20
ヒューズの交換について	27
表示部	3
秘話機能の設定	17
プライベートチャンネル	12、21
別売品	29
ポケットビーブ機能	8、16
保守について	27
—ま—	
マイクゲインの設定	18
マイクハンガーの取り付けかた	26
マイクロホン	9、26
モニター	11、21
—や—	
ユーザーコードグループ	12
ユーザーコードの設定	18
優先個別番号の設定	20
呼出用チャンネル	12
呼び出し	7、8
—ら—	
ロック機能	11

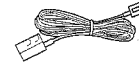
別売品一覧

■ 別売品についてのご注意

弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障あるいは動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

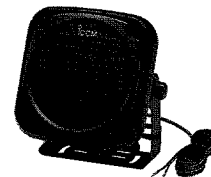
●OPC-647

マイクロホン延長ケーブル(約2.5m)



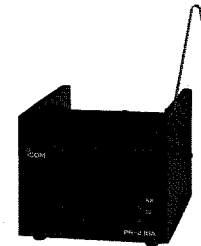
●SP-30

外部スピーカー



定格出力 : 20W
 インピーダンス : 4Ω

●PS-230A 卓上電源装置



●HM-188 マイクロホン(補修用)



高品質がテーマです。

